

2022年度 立命館学校教育研究会

総会 次第

確認期間：2022年6月1日（水）～2022年6月15日（水）

確認方法：立命館学校教育研究会HP【書面審議】

1. 議事

(1) 2022年度立命館学校教育研究会運営委員について

(2) 2021年度事業報告

(3) 2022年度事業計画

(4) 立命館学校教育研究会の運営にかかわる申し合わせ」の一部改正について

2. 立命館大学教職課程近況報告

3. 2022年度教員採用試験結果報告

以上

2022 年度 立命館学校教育研究会運営委員体制について（案）

標記の件、運営委員の交代や学内役職者の変更に伴い、以下の通り、2022 年度の運営委員体制を提案する。なお、運営委員の任期は 2 年であり、再任は妨げない。

顧問	崎野 隆	元 立命館学校教育研究会 会長
会長	上山 義宏	京都市教育委員会事務局総務部教職員人事課 参与 (京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授兼務)
副会長	井上 政嗣	雲雀丘学園小学校 教諭
副会長	石井 大記	京都市教育委員会指導部 学校指導課首席指導主事
運営委員	青木 志帆	大津市立瀬田南小学校 教諭
運営委員	石田 星子	京都聖母学院中学・高等学校 常勤講師
運営委員	大前 吉史	兵庫県立長田高等学校 主幹教諭
運営委員	平岡 信之	京都教育大学附属桃山小学校 教諭
運営委員	穂垣 利浩	<u>奈良市教育委員会教育部 学校教育課指導主事</u>
運営委員	溝淵 誠太郎	箕面市立萱野小学校 教諭
運営委員	宮前 顕子	堺市立大浜中学校 教諭
運営委員	山本 衛	京都府立向陽高等学校 教諭
運営委員	右谷 浩	<u>学校法人立命館一貫教育部副部長</u>
運営委員	森田 真樹	立命館大学大学院教職研究科 研究科長
運営委員	角田 将士	立命館大学教職教育センター センター長
運営委員	<u>武井 哲郎**</u>	立命館大学教職教育センター 副センター長
運営委員	<u>石田 智巳**</u>	立命館大学初等教職課程運営委員会 委員長
運営委員	<u>岡本 真一**</u>	立命館大学教職支援センター 主任 (衣笠)
運営委員	<u>中里 昭宏**</u>	立命館大学教職支援センター 主任 (BKC)
事務局長	井上 雅彦	立命館大学大学院教職研究科 副研究科長

※ 下線…2021 年度からの変更点

※ **…新任

2021 年度 立命館学校教育研究会事業報告

(1) 総会

6月に書面審議にて実施した。

(2) 若手教員懇談会

コロナ禍により開催を見合わせた。代わりに、衣笠キャンパスにて夏期に実施した教員採用 2 次試験対策に、青木志帆委員と井上雅彦事務局長が参加し、広報を行い、学部生と交流をした。

(3) 秋季大会

10月2日(土)にZoomによるオンラインで、秋季大会を開催した。秋季大会では、多くのマスメディアに取り上げられ、ベストセラーとなった「ケーキの切れない非行少年たち」の著者である立命館大学産業社会学部・大学院人間科学研究科教授の宮口幸治氏より、「ケーキの切れない非行少年たちと頑張れない子どもたち」というテーマでご講演いただいた。講演では、境界知能とされる子どもたちへの支援の重要性とその方法について、宮口氏が開発されたコグトレプログラムの紹介も交えながらお話いただいた。

基調講演の内容をうけて、大会後半は、「司法・矯正の実践から考える学校教育と多職種連携の未来」と題し、シンポジウムを開催した。司法・矯正の第一線で活躍されている北海少年院紫明女子学院の鈴木育美氏、はままつ共同法律事務所の栗田英友香氏より、法務教官・弁護士としての実践を通して見えてくる課題と多職種連携の可能性について話題提供があり、お互いの立場や専門性を生かしながら、多職種連携を深めていく必要性や支援者自身が孤立せず励まし合っていける関係性を築いていくことの大切さについて述べられた。講演会とシンポジウム終了後、シンポジストを交えた懇談会を行い、活発な質疑応答、意見交換がなされた。

(4) 総括

2021年度の秋季大会では、タイムリーかつ学校現場を取り巻く関心の高いテーマを扱うことができ、アンケートでも「今後の教育活動に生かせる貴重なお話ばかりだった」「自分にできることを改めて考える良い機会となった」、「もっと子どものために動かなければならないと気付かされた」といった高い評価をいただいた。次年度以降もその時々に応じた、関心を集めているテーマでの開催を検討していきたい。

また、総会においては、立命館大学の近況および2021年度教員採用試験の結果についても報告された。

以上

2022 年度 立命館学校教育研究会事業計画

(1) 2022 年度活動方針 (案)

- ① 現職教員をはじめとして、教職志望学生や本学教職員等、教育に関わろうとする者の交流、ネットワーク形成のための取り組みを推進する。具体的には、秋季大会や講演会、教員同士の懇談会等を設定し、幅広い年代、地域、職種の教育関係者が教育実践交流や研究活動を行うための機会を提供する。
- ② 教職を志す本学学生・院生の力量向上に資する取り組みを行う。大会や講演会の開催にあたっては、学生にも広く広報して参加を促す。また、教職支援センターが主催する各種企画についても、教職を志す学生・院生の進路実現のための必要な支援を行う。
- ③ ホームページ等を通じて、本研究会の取り組みについて、会員に加えて、社会にも広く情報発信を行う。

(2) 2022 年度 年間活動スケジュール (案)

時期	活動内容
4 月	第 1 回運営委員会 ・ 2022 年度 学校教育研究会運営体制について ・ 2021 年度立命館学校教育研究会事業報告ならびに 2022 年度立命館学校教育研究会事業計画について ・ 2022 年度立命館学校教育研究会総会（書面審議）について ・ 2022 年度立命館学校教育研究会秋季大会について ・ 2022 年度若手教員の会の活動について ・ 会員の名簿管理について ・ 「立命館学校教育研究会の運営にかかわる申し合わせ」の一部改正について
6 月	第 2 回運営委員会 ・ 2022 年度 秋季大会企画について (案) 2022 年度 立命館学校教育研究会 総会（書面審議）
10～12 月	第 3 回運営委員会 ・ 2022 年度 秋季大会の進行について (確認) ・ 2023 年度立命館学校教育研究会総会・秋季大会について 2022 年度 立命館学校教育研究会 秋季大会

上表に加え、必要に応じて運営委員会（メール会議）または会長・副会長・事務局長による運営委員会幹事会を開催する。

以上

1-(4)

「立命館学校教育研究会の運営にかかわる申し合わせ」の一部改正について

立命館学校教育研究会では、発足時に「運営にかかわる申し合わせ」を策定し、2013年度、2015年度、2019年度にその一部を改正した。今回、以下のとおり申し合わせの一部を改正する。

【主な変更点】 運営委員、顧問の選任方法および個人情報の取り扱いについて

【適用】 2022年度から適用する。

【新旧対照表】

現行	改正後
<p>1. 目的について</p> <p>「立命館学校教育研究会」は、立命館の校友教員をはじめとする教員、立命館の教職員および学生・院生等、教育に関わる者が学校教育に関する教育実践交流や研究活動などを行い、広く日本の教育界に貢献することを目的とする。</p> <p>2. 事業について</p> <p>(1) 研究会、講演会、その他本会の目的を達成するための活動</p> <p>(2) 教職を志す立命館大学の学生・院生の資質能力の向上に資する取組み</p> <p>(3) ホームページによる情報提供および情報交換</p> <p>(4) その他運営委員会が必要と認めた事業</p> <p>3. 会員について</p> <p>(1) 本会の会員は次のとおりとする。</p> <p>①立命館大学校友教員</p> <p>②立命館教職員</p> <p>③公立学校等の教員</p> <p>④その他、運営委員会が認めた者</p> <p>(2) 本会の会費は、当面徴収しない。</p> <p>4. 運営委員および任期</p> <p>(1) 本会の事業を運営するために、20名を上限とし、運営委員を置く。そのうち1名を会長、2名を副会長、1名を事務局長とする。</p> <p>(2) 運営委員は、会長の発議にもとづき、運営委員会の議を経て総会において選任する。</p>	<p>1. 目的について</p> <p>「立命館学校教育研究会」は、立命館の校友教員をはじめとする教員、立命館の教職員および学生・院生等、教育に関わる者が学校教育に関する教育実践交流や研究活動などを行い、広く日本の教育界に貢献することを目的とする。</p> <p>2. 事業について</p> <p>(1) 研究会、講演会、その他本会の目的を達成するための活動</p> <p>(2) 教職を志す立命館大学の学生・院生の資質能力の向上に資する取組み</p> <p>(3) ホームページによる情報提供および情報交換</p> <p>(4) その他運営委員会が必要と認めた事業</p> <p>3. 会員について</p> <p>(1) 本会の会員は次のとおりとする。</p> <p>①立命館大学校友教員</p> <p>②立命館教職員</p> <p>③公立学校等の教員</p> <p>④その他、運営委員会が認めた者</p> <p>(2) 本会の会費は、当面徴収しない。</p> <p>4. 運営委員および任期</p> <p>(1) 本会の事業を運営するために、20名を上限とし、運営委員を置く。そのうち1名を会長、2名を副会長、1名を事務局長とする。</p> <p>(2) 運営委員は、会長の発議にもとづき、運営委員会の議を経て選任し、総会において報告する。</p>

<p>(3) 会長、副会長および事務局長は、運営委員会の議を経て<u>総会において選任</u>する。事務局長は、立命館大学専任教員の中から選出する。</p> <p>(4) 運営委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。任期途中に選任された運営委員の任期は、前任者の残任期間と同一とする。</p> <p>(5) 立命館の教職員から選出される運営委員は、役職交代に伴い変更することがある。</p> <p>5. 顧問について</p> <p>(1) 本会に顧問をおくことができる。</p> <p>(2) 顧問は会長の推薦により、<u>総会で決定</u>する。</p> <p>(3) 顧問の任期は2年とし、再任を妨げない。</p> <p>6. 運営委員会および幹事会について</p> <p>(1) 本会を運営するために運営委員会を設ける。</p> <p>(2) 本会運営に関わる事項を審議するため、運営委員会のもとに幹事会を置く。</p> <p>(3) 幹事会は、会長、副会長および事務局長により構成する。</p> <p>7. 総会について</p> <p>(1) 総会は、これを年1回開催することを原則とする。</p> <p>(2) 総会の開催は、運営委員会が決定する。</p> <p>(3) 総会は、事業方針の承認、その他重要事項を決定する。</p> <p>8. 個人情報の取り扱い</p> <p>(1) 会員登録した個人情報については、<u>本会の事業</u>以外の目的には使用しない。</p> <p>(2) 本会の会員は、個人情報の取り扱いに責任を持ち、研究会、会報およびホームページ・メーリングリスト等で知れた個人情報について、本会の許可なく無断で使用してはならない。</p> <p>9. 事務局について</p> <p>本会の事務局を立命館大学朱雀独立研究科事務室に置く。</p>	<p>(3) 会長、副会長および事務局長は、運営委員会の議を経て<u>選任し、総会において報告</u>する。事務局長は、立命館大学専任教員の中から選出する。</p> <p>(4) 運営委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。任期途中に選任された運営委員の任期は、前任者の残任期間と同一とする。</p> <p>(5) 立命館の教職員から選出される運営委員は、役職交代に伴い変更することがある。</p> <p>5. 顧問について</p> <p>(1) 本会に顧問をおくことができる。</p> <p>(2) 顧問は会長の推薦により、<u>運営委員会で選任し、総会において報告</u>する。</p> <p>(3) 顧問の任期は2年とし、再任を妨げない。</p> <p>6. 運営委員会および幹事会について</p> <p>(1) 本会を運営するために運営委員会を設ける。</p> <p>(2) 本会運営に関わる事項を審議するため、運営委員会のもとに幹事会を置く。</p> <p>(3) 幹事会は、会長、副会長および事務局長により構成する。</p> <p>7. 総会について</p> <p>(1) 総会は、これを年1回開催することを原則とする。</p> <p>(2) 総会の開催は、運営委員会が決定する。</p> <p>(3) 総会は、事業方針の承認、その他重要事項を決定する。</p> <p>8. 個人情報の取り扱い</p> <p>(1) 会員登録した個人情報については、<u>本会の事業および教職研究科が主催する研究会・教員研修講座の情報提供</u>以外の目的には使用しない。</p> <p>(2) 本会の会員は、個人情報の取り扱いに責任を持ち、研究会、会報およびホームページ・メーリングリスト等で知れた個人情報について、本会の許可なく無断で使用してはならない。</p> <p>9. 事務局について</p> <p>本会の事務局を立命館大学朱雀独立研究科事務室に置く。</p>
--	---

立命館大学教職課程近況報告

立命館大学では、総合大学に相応しく、多くの学部で、各学部での専門的な学びを基盤にしながら、多彩な教員免許状を取得することが可能になっている。その中で、単なる資格課程として教員免許状の取得だけをめざすのではなく、教員採用試験への合格やその後も学び続けることで質の高い教育実践を行うことができる力量豊かな教師を一人でも多く送り出せるように、特に中等教職課程においては、2010年度以降、2回生と3回生との間での履修継続に一定のハードルを課すなど、教職本気層の絞り込みを志向してきた。その一方で、2020年度以降、教職履修者数は下げ止まりの様相を呈しており、2021年度の一部科目ではクラス数を増やして対応するなどした。学生たちは様々な理由で教職課程を履修しているが、全ての履修者に対して、教職課程での学びを通じて、教職に対する深い理解や高い使命感を醸成できるよう、鋭意努力を続けていきたい。

2021年度は、多くの科目でオンライン授業を実施した2020年度とは異なり、原則、対面授業を実施した。そのような中、一部の自治体を除いて介護等体験が中止され、教育実習が期間短縮や中止されるなど、コロナ禍の影響は大きかった。教育実習については、大学で補講を実施するなどして対応したものの、教員に求められる力量形成のあり方としては不十分なものであり、課題が残った。

2022 年度教員採用試験結果報告

2022 年度教員採用試験については、コロナ禍の影響を受けつつも、様々な工夫を施しながら必要な支援を行い、久しぶりに 300 名を超える合格者を輩出することができた。こうした成果は、コロナ禍という困難にも負けずに一途に取り組んだ学生諸氏の奮闘や関係教職員の献身的な支援の賜物であり、「教師になりたい」という夢を現実のものにできる大学として、立命館大学の社会的価値を高めている。こうした評価をさらに高めていけるよう、自治体ごとの試験の特色に応じた支援のあり方をより深く研究するなど、今後も引き続き努力を続けていきたい。